

1月18日(火)、市高教組は市教委と冬の単組交渉実施

感染対策とりつつ交渉を実施

冬の単組交渉実施について、昨年の事前折衝においては、各分会から直接に要求を市教委に示す場としての交渉実施を追求してきました。ところが年末年始と新型コロナウイルスの感染拡大が進んだため、組合側は分会からの参加はとりやめて執行部のみの参加、市教委側も参加者を4人にしぼり、予定通り1月18日(火)に1時間程度の予定で交渉を実施しました(会場は本庁舎の会議室に変更)。

事前に提出した要求書に対する伊藤担当課長からの回答の後、村尾委員長から、高校入試におけるコロナ対応について、別室受験が多発する状況が生じた場合に現場に多大な負担がかかるような事態を避けられるよう、教職員の安心安全の確保を含めて教育委員会として対応準備を考えておくよう申し入れました。

教職員定数は厳しいが、努力する

教職員定数については、京都市の危機的な財政状況から人員削減を強く求められているとの説明がありました。組合からは各分会の事情も説明して人員確保の要求を訴え、市教協交渉で回答された「高校の定員人事の維持に努力する」との姿勢に変わりがないか追及し、確認しました。

また、高校で始まる観点別評価や新しい学習指導要領に基づく新教育課程のスタートには人員増などの条件整備が前提となっていることを指摘。十分な定員数がなければ現場の実践がスタートから破綻することを訴え、市教委から財政当局に対してこの点も大いに強調して定数増を実現するよう求めました。

来年度の新規採用内定者は18名でしたが、1名の辞退があったとの説明がありました。辞退者の教科などの詳細はその場では確認できず、後日連絡してもらおうことになりました。

年度途中の休職に対する講師が確保できずに教育に穴があく問題について、市教委は講師登録の工夫・改善により例年よりも講師登録数が増加していると述べ、問題解決のために引き続き努力すると表明しました。

超勤縮減について

超勤縮減について、組合は協議の端緒として、休日の学校説明会や休日の模擬試験等について例示しながら見解を述べました。

学校説明会について市教委は、一律に制限することはなじまないとし、各校のマネジメントによる判断を求めると述べました。しかし総合選抜から単独選抜へと変わり、各

校が中学校への相当なアピールを余儀なくされている下では、各校任せでは歯止めがかかりません。市教委は、学校説明会を休日にくらでもやってよいものではないことは当然だと述べ、休業日の勤務実態については課題認識を持っていると表明しました。

市教委は超勤縮減について、目標に照らしてまだまだできていないとする現状認識を示し、校長会と協議を進めているとくみみに期待をしていると述べますが、市教委として責任を持った具体的な超勤縮減策の回答はありませんでした。

ただ、昨年度に続き、入試業務の時期に割変の適用を泊以外に拡大して試行すること、その対象業務をさらに補習等にまで拡大することの説明がありました。前回には煩雑で管理職の負担増が生じ実際的でなかった点も指摘し、試行は歓迎するが成果を出せるように、引き続きの努力を求めました。

定年延長その他

定年延長についての市教委の基本回答は、国家公務員の状況を踏まえて適切に対応していく、というものでした。組合は、行政職と教育現場では状況が異なり、国家公務員とは別の制度設計の考え方が必要であることを主張しました。市教委は、国家公務員の制度は大筋を示すものであり、京都市にも様々な職種の職員がいるので大筋をふまえた上で適切な制度設計を行うという意味だと説明しました。組合は、今後随時制度設計について組合と協議するよう求めました。市教委は賃金以外にも役職定年制や再任用制度との関係なども課題としてであると述べました。

部活動顧問の生徒引率以外の業務に対する何らかの手当支給について、市教委は、特殊業務手当の対象にはならないが、他都市の状況も調べながら研究は続けると回答しました。

民法改正による「18歳成人」の4月施行に関わって市教委は、保護者の位置づけは従来通りとすること、消費者契約等の学習をこれまで同様しっかり行うことなどを回答しました。組合からは、18歳になった生徒に対し制限ばかりでなく可能性や責任についても伝え理解できるようにすべきであることを訴え、今後も必要な意見交換をしていくことを求めました。

入試業務等でのコロナ対応、割変の適用拡大、定員要求ほか、何かありましたら組合にご意見をお寄せください。

お詫びと訂正

前回の市高ニュース第9号において、表面左側の市教委回答について「来年度は夏期及び年末の期末手当をそれぞれ0.75月引き下げ」と記載しましたが、『0.75月』との記載は誤りで、『0.075月』と記載すべきでした。訂正してお詫びいたします。

